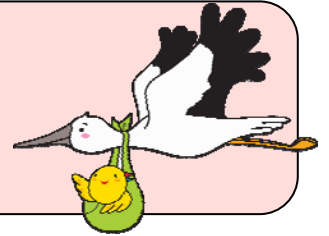


ひょうご

子ども未来通信1月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



子育て支援者交流会 (11/30) 「まちかど子育て相談員」に認定証授与

地域で子育て支援に携わる方々に情報交換や交流を深めていただくための交流会が、県農業共済会館で開催され、地域で子育て支援に取り組んでいる実践活動家等、約140名が参加しました。

冒頭、個々のニーズに応じて、子育て家庭をきめ細かくサポートする「まちかど子育て相談員」の認定証授与式が行われ、井戸知事より修了生121名に認定証が授与されました。

続いて、子育て支援3団体による活動報告が行われた後、兵庫大学の田端教授が「子育て支援ボランティアのこれから」と題し、講演。「地域社会のつながりが失われつつある今、子育て家庭を支えるのはボランティア。身近な個人や集団の連携による支援が必要」と子育て支援ボランティアの重要性や意義を訴えました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



活動発表

団体名	内容
北播磨市民活動支援センター (小野市)	「子育て情報楽座」を開設し、保育所や企業、NPOなどのネットワーク化と情報の共有・発信を展開
加古川みらい創造有限責任事業組合 (加古川市)	元旅館の空き家を改装して子育てほっとステーション「こぼこ」を開設、親子がくつろげる空間を提供
保育ネットワーク・ミルク (三田市)	子育て中の親対象のセミナーを「子育て元気アップ活動助成」を活用して実施

「お産を考えるフォーラム」 in但馬長寿の郷 を開催

「但馬での安全・安心なお産ができる体制づくり」をテーマにしたフォーラムが12月24日、県立但馬長寿の郷で開催され、地域住民や医療関係者など約150人が参加しました。

基調講演では、三重大学の池田智明教授が「豊岡病院をハイリスクを含めた産科・新生児医療の中核病院と位置付け、周囲の病院との役割分担が必要」など、示唆に富んだ提言を披露。

パネルディスカッションでは、出産経験者や助産師、医師を交え、但馬での安全・安心なお産のあり方について活発な意見が交わされました。



(問) 豊岡健康福祉事務所 0796-26-3655

子育て支援ひょうごフォーラム 「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」を開催

県と県医師会協働による「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」フォーラムが、12月10日に神戸市内で開催され、乳幼児の保護者、幼稚園・保育所関係者ら約200名が参加しました。



兵庫医科大学の服部益治教授は、「子どもの事故は予防可能な健康問題」、「大人の具体的な注意で事故予防を」など日頃子どもと接する際の心構えをわかりやすく伝授。

その後、4人の小児科医により保育所や家庭で起きる子どもの事故の実態が詳しく報告され、参加者にとって貴重な機会となりました。

起こりやすい事故	対策例
【玄関】 手や指を挟む	隙間カバーをつける
【風呂】 浴槽に落ちて溺れる	浴室に鍵をつける 残り湯を捨てる
【バルコニー】 身を乗り出して落下	踏み台になる物を柵の近くに置かない

(問) 県少子対策課 078-362-4184

子育て応援

企業人セミナーin神戸を開催

県と県経営者協会が「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」をテーマに、12月6日、神戸市内でセミナーを開催し、企業経営者や人事労務担当役員など約40名が参加しました。

基調講演では、経営・人財コンサルタントの中村喜一郎氏が、自らの体験もふまえて、企業が社員の子育てと仕事の両立支援に取り組む際のヒントを提示。

「ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活・家庭の間で個人の時間を取り合うのではなく、与え合うこと」、「優秀な人材に、意欲的かつ持続的に仕事に取り組んでもらう仕組みづくりが大切」といった話に、参加者からは「自分の会社で何ができるか改めて考えたい」等、積極的な意見が寄せられていました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

紙芝居&絵本の読み聞かせひろばXmasスペシャル(12/22)

昔なつかしい紙芝居でみんなほっこり



クリスマス特別企画として、家族みんなでいっしょに紙芝居や絵本を楽しむ催しが、12月22日に県立男女共同参画センター(神戸市中央区)で開催され、約80名が参加しました。

まず、西播磨地域推進員による男女共同参画啓発紙芝居、ボランティアグループの絵本の読み聞かせなどが行われ、続いて、昔なつかしい紙芝居が上演されました。

演目は、漫画家手塚治虫氏の「鉄腕アトム」のモチーフになった「鉄人ちびっこ」や、子どもが活躍する「少年ターザン」などで、色鮮やかで迫力がある紙芝居の絵と、演者「たまちゃん」の太鼓を鳴らしながらの熱演に、会場は大いに盛り上がりました。

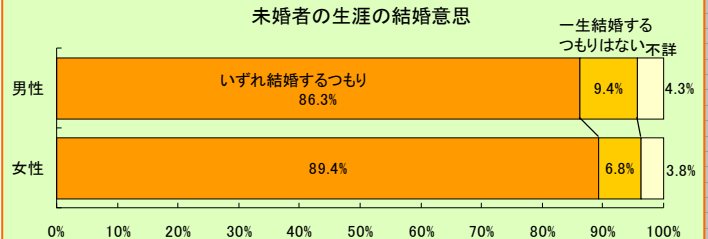


(問) 県男女家庭室 078-362-3160

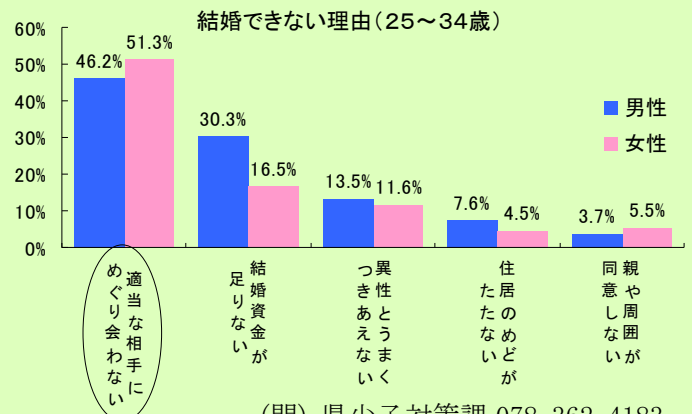
～第14回出生動向基本調査～

「9割が結婚を希望」するも「半数は出会いがない」と回答

厚生労働省がこのたび公表した「第14回出生動向基本調査」によると、18歳以上35歳未満の未婚男女のうち、いずれは結婚しようと考えている未婚者の割合は、男性86.3%(前回87.0%)、女性89.4%(同90.0%)と、高い水準にあります。



また、結婚できない理由として男女ともに約5割が「適当な相手にめぐり合わない」と答えています。そのほか約3割の男性が「結婚資金が足りない」と答えています。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

県では出会い支援事業を展開しています！

各種会員・団体大募集！

<出会いイベント会員(無料)>

協賛団体(企業)が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

<はばタン会員(有料:年度登録料3000円)>

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体(企業)も募集しています。



(問)ひょうご出会いサポートセンター(県青少年本部)078-891-7415

はばタンの環境学習(12/16) 園児たちがはばタンとお約束

県は、幼児期における環境学習への取組として、「はばタンの環境学習」を芦屋市立西山幼稚園で開催し、約110名の園児が参加しました。

学習会では、紙芝居を使って水や電気の大切さを知ってもらうとともに、環境にやさしい生活を園児に呼びかけ、子どもたちは、幼稚園やお家で環境を大切にすることをはばタンと約束しました。

「はばタンと一緒に話が聞けて良かった」と嬉しそうに話す園児の姿が印象的でした。

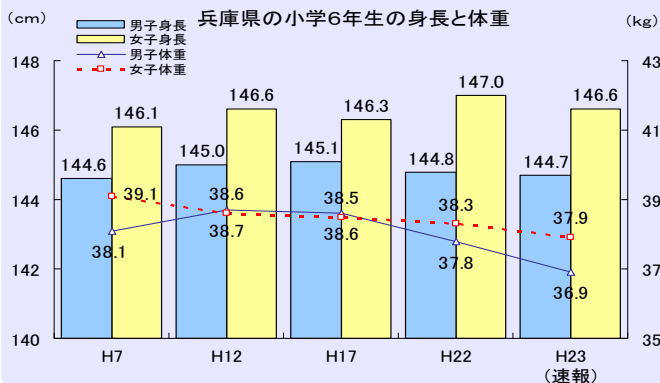


(問) 県環境政策課 078-362-9895

学校保健統計調査(H23速報) 子どもの身長は横ばい 体重はスリムに

このたび公表された「学校保健統計調査速報」によると、県内の小学6年生の身長は前年調査とほぼ横ばい、体重については、男子は0.9kg減、女子は0.4kg減となるなど“スリム化”が進んでいることが明らかになりました。

ちなみに体重は、男子では高校3年生以外、女子では高1、高3以外の各学年で、全国平均値を下回っています。



虐待防止へ親権の停止可能に 改正民法、平成24年4月に施行

政府は12月13日、「児童虐待防止のために親権を最長で2年間停止できる」事等を定めた改正民法の施行を平成24年4月1日とする政令を閣議決定しました。

現行民法では、家庭裁判所の宣告により親が親権を失う「親権喪失」の制度がありますが、期限に定めがなく、親子関係の断絶につながりかねないことから、申し立てをためらうケースが多くありました。

改正法では、親族や虐待された本人等から申し立てがあれば、家裁が子の身体や生活の状況を考慮し、「親権の行使が困難または不相当で、子の利益を害する場合」に、2年以内の範囲で審判で停止期間を定めることができるようになります。

<児童虐待防止 24 時間ホットライン>

中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター (夜間休日相談)	078-382-2525 078-382-1900

「子育てフォーラムinひょうご」を開催

「こどもは社会の宝 みんなで護ろう みんなで子育て」をキャッチフレーズに社会的養護を考えるリレーフォーラムが、県児童養護連絡協議会や県地域活動連絡協議会等により県内5か所で開催され、延べ1,259名が参加しました。

播磨会場では、落語家の桂蝶六さんが「親育ち」と題して講演、施設職員との対談を行い、「叱る側に余裕がないと『叱る』ではなく『怒る』になってしまう」、「人間本来の愚かさを『しゃあないやっちゃん』と認めることが必要」など、自らの経験談を元にユーモアたっぷりに話をされました。

また明石会場では、歌のお兄さんと一緒に歌うなど大人も子どもも楽しいひと時を過ごしました。



(問) 県児童課 078-362-3182

参加者募集

親子で楽しく学ぼう「おこづかいゲーム」

お金の価値や役割を理解し、物を大事に使う大切さを「すごろくゲーム」方式で楽しく学ぶ学習会を開催します。

- ◆日時 平成 24 年 1 月 29 日 (日)
13:30~15:30
- ◆場所 西宮市大学交流センター
(西宮市北口町 1-2 ACTA 西宮東館 6 階)
- ◆対象 小学生(3~6 年)と保護者 50 組(100 名)
- ◆内容 体験学習とパネルやパンフレット等の展示
- ◆申込 保護者と小学生の氏名・住所・電話番号を明記し、FAX、E-mail、郵送または電話で下記まで(先着順・参加無料・申込締切 1/20(金)(郵送は必着))
- ◆問合せ 兵庫県生活科学総合センター
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 4-2
TEL 078-302-4000
FAX 078-302-4002
E-mail seikatsukagakusogo@pref.hyogo.lg.jp

県立美術館「アートな凧をつくろう」

新しい 1 年をアートで始めてみませんか。美術館の作品を鑑賞してアートな凧を自分で作ってみましょう。作った凧はその後みんなで空に浮かべます!

- ◆日時 平成 24 年 1 月 7 日 (土)
10:30~15:30
- ◆場所 兵庫県立美術館 アトリエ
(神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1)
- ◆対象 小中学生とその保護者 30 名
(小学校 3 年生以上はこどものみの参加も可です。保護者の方は別途要観覧料)
- ◆申込 電話で申し込み(先着順)
- ◆費用 500 円
(材料費、保険料含む)
- ◆問合せ 兵庫県立美術館
こどもイベント係
TEL 078-262-0908



NPO 等の活動紹介

「NPOと行政の子育て支援会議」 ひょうごボランティアプラザとともに 宮城・福島・岩手を訪問し親子らと交流



NPO と行政の子育て支援会議(米山清美代表幹事)は、ひょうごボランティアプラザとともに、東日本大震災で被災した子どもたちを励ますため、11/30~12/3 にかけて岩手、宮城、福島の 3 県の幼稚園や小学校などを訪問しました。

仙台市の東六郷幼児学園では、園児たちに人形劇を披露。

福島県伊達市では、サンタクロースに扮した阪神タイガースドラフト 2 位指名の聖光学院の歳内宏明選手と共に、原発事故で飯館村から避難している子どもたちにプレゼントを手渡すなど、交流を深めました。



★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します!

「はじめましてのごあいさつ～」

ひょうご絵本の伝承師 山本 誠(伊丹市)

私は、現在、定時制高校に勤務しています。出勤までの時間を活かし、夫婦で「おはなし♪ぼぼんた」というユニットを組んで地域で絵本の読み聞かせ活動をしています。

絵本のBGMに「一五一会」という弦楽器を用いながら、0歳から80歳までいろんな方々に、お話を届けています。絵本を介したコミュニケーションで、少しでもほっとしてもらえたら…と、絵本を抱えて出かける毎日です。



高校でも、生徒を相手に絵本を読んだり、一緒に「学童保育」にお話を届けたり、絵本を作ったりと、生徒たちに少しでも絵本を読んでもらった頃の幸せな時間を思い出してもらえたらと毎日取り組んでいます。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

